

2013年4月4日

福島県議会議長
齋藤 健治様

日本共産党福島県議会議員団
団長 神山悦子
宮川えみ子
阿部裕美子
長谷部 淳
宮本しづえ

県議会の常任委員会再編に関する申し入れ

福島県は、東日本大震災と原発事故から2年が経過してもなお、県内外に15万人余が避難生活を余儀なくされ、被害は様々な分野に拡大し続けています。こうした被災県民に寄り添い、全ての被災者が被害から立ち直り、新たな生活と生業を再建できるよう議会としてのきめ細かな対策が引き続き求められています。

とりわけ、県民の不安の元凶である事故原発の安定化、収束に向けた取り組みの促進、放射能に汚染された県土の生活環境回復に不可欠な除染の推進、更には被災者へのきめ細かな支援など、震災、原発事故に係わる対策の重要な部分を担っている企画環境委員会は、膨大な予算に基づく審査にかなりの時間を要する事態が継続しています。

また、震災と原発事故に伴い、本県の医療、福祉体制の脆弱さが露呈する下で、県民の医療と福祉を守る取り組みの重要性も再確認されました。その拡充のためには、保健福祉行政の充実が求められており、県議会においても十分な議論を尽くすことが求められます。

よって、現在の各常任委員会の所管部署を以下のような再編を検討されるよう申し入れます。

[常任委員会再編案]

- ① 総務・企画常任委員会
- ② 福祉常任委員会
- ③ 生活環境常任委員会
- ④ 商労・文教常任委員会
- ⑤ 農林水産常任委員会
- ⑥ 土木・公安常任委員会

以上